

平成24年度独立行政法人国立環境研究所契約監視委員会議事概要

1. 日時 平成24年6月20日(水) 10:00-11:30
2. 場所 TKP新橋ビジネスセンター
3. 出席者
 - (1) 委員
野村委員長、沢田委員、中川委員
有信委員(国立環境研究所監事)、小林委員(国立環境研究所監事)
 - (2) 事務局(国立環境研究所)
鏑木理事、笠井総務部長、中込会計課長、成島会計課課長補佐、高津会計課契約第一係長
坂本監査室長、星野監査主幹
4. 議題
 - (1) 平成23年度の契約の状況について
 - (2) その他
5. 議事概要
 - (1) 平成23年度の契約の状況について
 - ①平成23年度の契約実績及び改善への取組の状況について、事務局から資料に基づき説明を行い、委員会は点検及び見直しを行った。
 - ②委員からの意見等の主なものは、次のとおりである。
 - ア. 契約の改善のフォローアップを行う目的は、何でも競争にさせればよいということではなく、成果の質を確保しつつ無駄なお金を使わないという意味でコストを下げることでできたかどうかということである。
 - イ. 随意契約で最初の契約によってその後の契約相手が決まってしまうようなケースのものは、最初の調達が必要になるので、その際の調達作業に特にウェイトを置いてよく考えるべきだ。また、長期間随意契約が続いているものについては、相手先の変化もあるので、10年くらいでその契約の妥当性について第三者も確認したというようなことがあったほうがよい。
 - ウ. 参加者確認公募方式を行うことについて、効果があるとは思えない。やめることはできなくても、複数年契約を行うことで手間を減らすことはできないか。
 - エ. 落札率が予定価格に対して100%のものがある。予定価格の決定方法自体に問題があるとは思わないが、何か工夫ができないか。
 - (2) その他
事務局から、「研究開発事業に係る調達の在り方について(中間整理)」(平成23年12月2日研究開発事業に係る調達の在り方に関する連絡会議・同検証会議)の概要について説明を行った。

以上